

新協会の目標と活動計画

平成28年5月26日

機関リポジトリ新協議会(仮称)設立準備会

筑波大学 江川和子

【新協会の名称】

オープンアクセスリポジトリ推進協会

Japan Consortium for Open Access Repository : JPCOAR

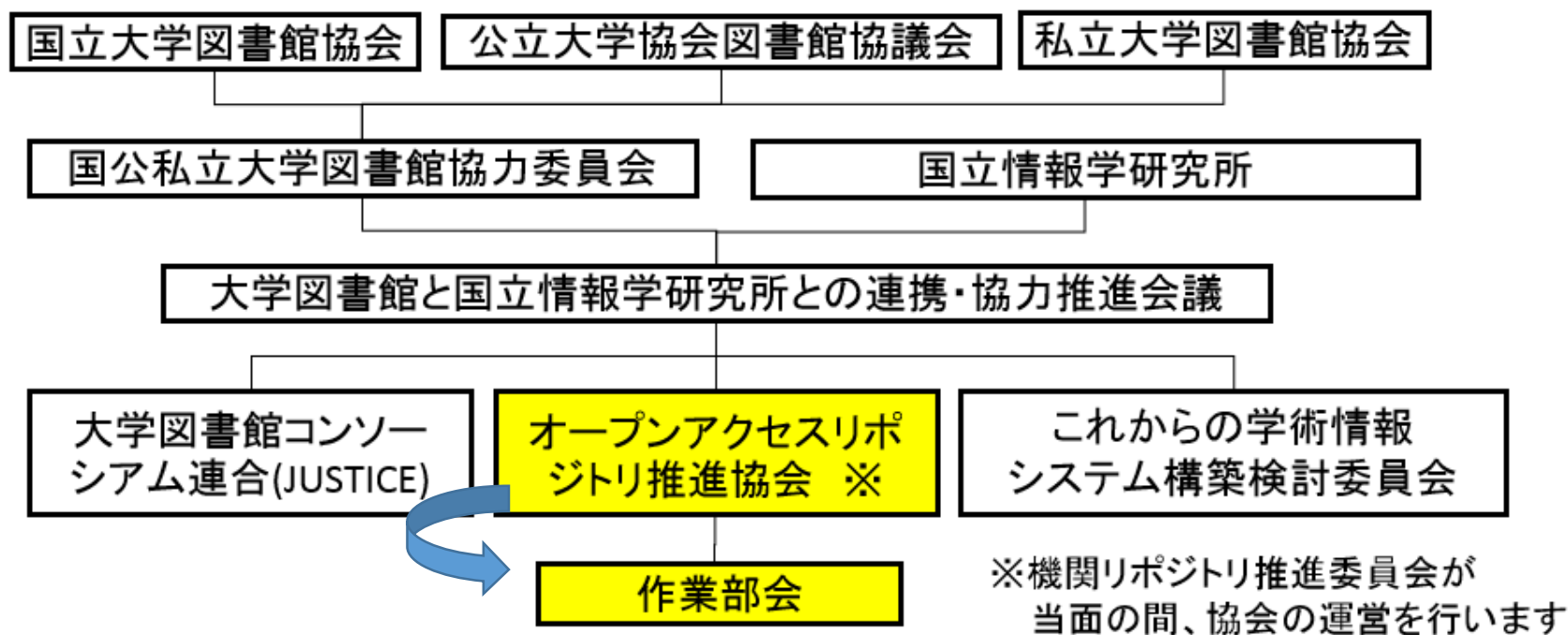
設立の背景

- 世界的規模で、公的研究資金の助成機関による研究成果のオープンアクセスの義務化が具体化されつつある。
- 学術研究成果のオープンアクセス化に寄与することは、単に図書館の活動にとどまるものではなく、研究者や大学・研究機関にとっての必須条件となりつつある。
- 大学図書館に求められる対応：研究成果の発信の普及・定着、人材育成、機関リポジトリシステムの機能改善および共同運営の推進、等。

→国内の大学・研究機関の力を結集

→機関リポジトリの課題解決に取り組む **新しいコミュニティ**

- 「連携・協力の推進に関する協定書」に掲げる「機関リポジトリを通じた大学の知の発信システムの構築」を推進し、コミュニティの強化と、我が国のオープンアクセス並びにオープンサイエンスに資することを目的とする。
- 国内共通のリポジトリシステム基盤として JAIRO Cloudを国立情報学研究所と共同運営する。



参加機関は、運営委員会や作業部会に委員を派遣することにより、事業に参画

当面の重点目標

- オープンサイエンスを含む学術情報流通の改善
- 機関リポジトリシステム基盤の共同運営と有効活用
- 機関リポジトリ公開コンテンツのさらなる充実
- 担当者の人材育成のための研修活動
- 国際的な取組みに対する積極的姿勢

スケジュール

平成28年4～6月 新協会への参加意向確認(7月1日まで)

平成28年5月26日 国立情報学研究所において説明会

平成28年7月27日 設立総会(一橋講堂)

会則等の承認 → 正式申込開始

平成28年11月 ワークショップ開催(図書館総合展フォーラム)

平成29年3月 第1回年次総会(東京)

平成29年4月 会費徴収開始

→ 自主的な運営を目指す

作業部会等(平成28年度活動計画案)

・作業部会(常設)

1	研修作業部会	機関リポジトリ講習 ※平成29年度以降は、現在国立情報学研究所と機関リポジトリ推進委員会が共催で実施している「機関リポジトリ新任担当者研修」を協会が後継し開催する予定
2	JAIRO Cloud運用作業部会	ユーザー要望とりまとめ、JAIRO Cloud移行サポート、DOI登録サポート、SCPJのシステム移行、コミュニティ活性化
3	広報作業部会	国際担当(COAR、OR、IDCC、中国)、イベント(図書館総合展)

・タスクフォース(期間限定プロジェクト)

1	メタデータ検討	junii3対応、JaLCガイドライン
2	研究データ	RDMトレーニングツール、実験的取組み、実態調査、NIIオープンサイエンス基盤整備との調整
3	論文OA	OA方針策定支援、モニタリングツール、OA実施評価、researchmap連携
4	指標・評価・メトリックス	IRDBコンテンツランキング、ログ分析
5	COAR Asia	アジア版COARの立ち上げ